



研究テーマ

- 1 知的障害のある児童生徒のキャリア教育
- 2 発達障害等のある児童生徒の学校適応に関する研究
- 3 児童生徒のメンタルヘルスの問題に関する研究



戸ヶ崎 泰子

とがさき やすこ
教育学研究科
教職実践開発専攻

教授

キーワード

限局性学習症、注意欠如多動症、自閉スペクトラム症、知的発達症、特別支援教育、キャリア教育、ダイバーシティ教育、特別支援学校、認知行動療法、ストレスマネジメント

特許情報・
共同研究・
応用分野など

共同研究

1. 知的障害のある児童生徒のキャリア教育に関する研究
2. 行動問題を示す発達障害等のある児童生徒に対する指導・支援に関する研究
3. 児童生徒に対する多様性の理解促進に関する研究
4. 児童生徒のメンタルヘルス不調の予防教育に関する研究

研究概要

限局性学習症、注意欠如多動症、自閉スペクトラム症等の発達障害や知的発達症などの特別な教育的支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズに対する指導・支援に関する実践的研究や、メンタルヘルス不調や二次障害等に対する予防的介入研究に取り組んでいます。特に、知的障害特別支援学校や知的障害特別支援学級におけるキャリア教育に関する調査研究や実践研究に力を入れて取り組んでいます。また、児童生徒の多様性の理解促進に関する実践研究にも関心を持っています。

1 知的障害のある児童生徒のキャリア教育

障害者の就労に関する様々な問題に対応するため特別支援学校等ではキャリア教育が重要視されています。しかし、キャリア教育によってどのような「基礎的・汎用的能力」が向上したか、あるいは「基礎的・汎用的能力」が向上したことによって、その後の就職状況・職場適応がどのようになったのかといったことが十分には実証されていません。

また、一貫性・系統性のある教育課程のもとでキャリア教育を展開していくことの必要性が指摘されているものの、より早い学校段階からの系統性のある教育実践に向けた教育課程の編成についてはさらなる研究が必要です。

このような課題をふまえて、知的障害特別支援学校や特別支援学級におけるキャリア教育について、調査研究や実践研究を行っています。

2 発達障害等のある児童生徒の学校適応に関する研究

発達障害等のある児童生徒の学校適応を促すための教育的ニーズに対応した指導・支援の実践研究に取り組んでいます。特に、児童生徒の行動問題や対人関係上の課題に対する認知行動論的アプローチの効果について研究しています。

3 児童生徒のメンタルヘルスの問題に関する研究

児童生徒のメンタルヘルスの問題に対する予防的対応という観点から、認知行動療法の考え方に基づいた抑うつ予防やストレスマネジメントのプログラム開発とその効果について研究しています。

ホームページ

研究者データベース

https://srhumdb.miyazaki-u.ac.jp/html/165_ja.html

技術相談に応じられる関連分野

特別支援教育に関わる分野、児童生徒の学校適応促進に関わる分野

メッセージ

特別支援教育に関心のある先生方や学校等と協働しながら、特別な教育的支援を必要とする児童生徒のQOLの向上・充実した学校生活の実現に向けて研究に取り組んでいきたいと思っています。